

### (1) 斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は平年並でした（図1）。

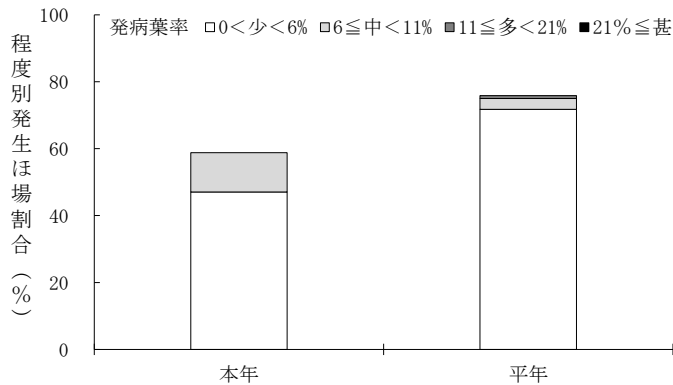


図1 リンゴ斑点落葉病の新梢葉での発生状況

### (2) 褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は平年よりやや高く、発病葉率の高いほ場も見られました（図2）。晩生種で発生が多い場合には、特別散布を実施しましょう。

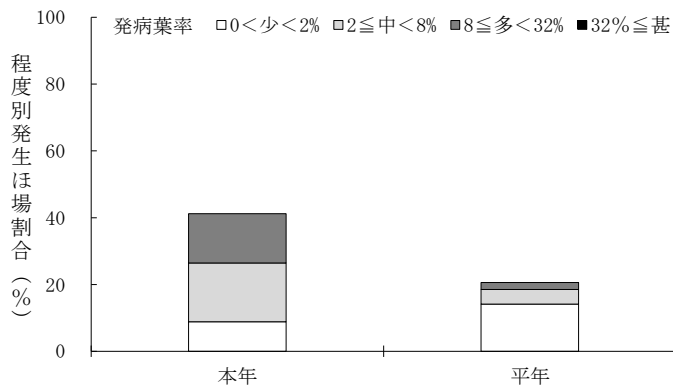


図2 リンゴ褐斑病の新梢葉での発生状況

### (3) 炭疽病

果実での発生ほ場割合は平年並でした（図3）。罹病果は二次伝染源となるため、摘除し園外に持ち出すなど適切に処分しましょう。

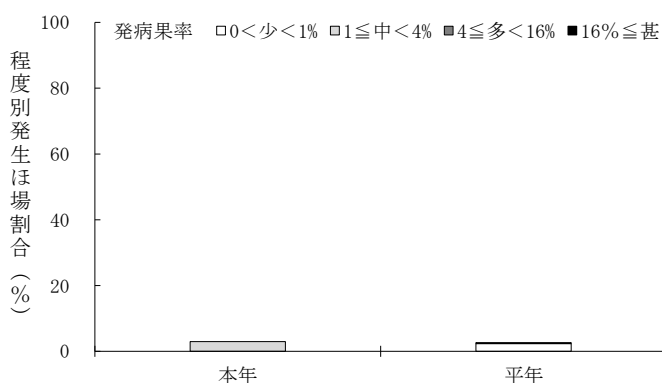


図3 リンゴ炭疽病の果実での発生状況

#### (4) すず点病、すず斑病

果実での発生ほ場割合は、中通りでは平年よりやや高く、会津では平年同様に発生が確認されませんでした（図4、5）。地方の防除暦に従い、薬剤散布を実施しましょう。

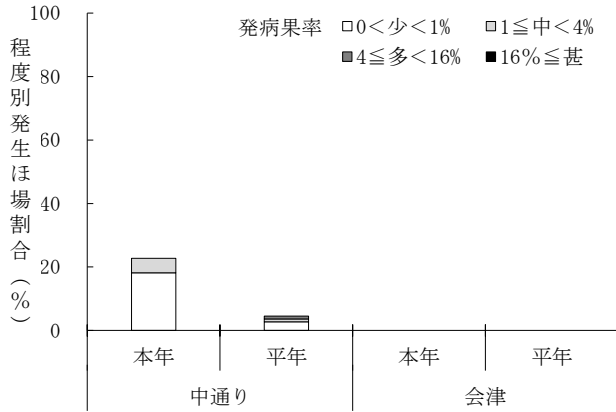


図4 リンゴすす点病の果実での発生状況

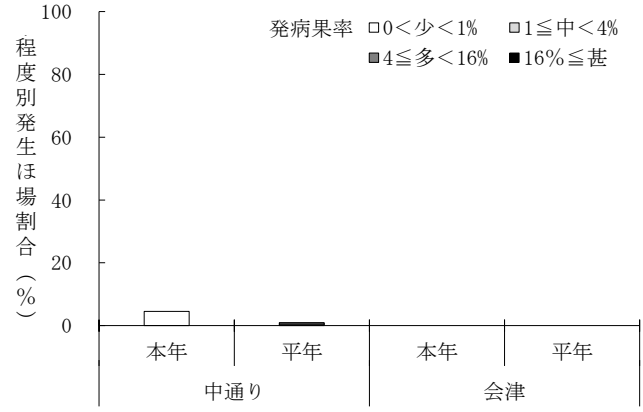


図5 リンゴすす斑病の果実での発生状況

#### (5) ハマキムシ類

新梢、果実ともに被害は確認されず、発生ほ場割合は平年並でした。